

令和5年4月9日執行

新潟県議会議員一般選挙公報

新潟市中央区選挙区

新潟県選挙管理委員会

- 1 安心して暮らせる新潟**
子育て支援の拡充、社会教育の充実と青少年の居場所づくり、安心して医療・介護が受けられる体制整備、差別のない社会づくり
- 2 災害に強い新潟**
原子力避難計画の実効性確保、防災教育の推進、自主防災組織の活性化・地域防災力の強化、簡易トイレ・液体ミルクの備蓄推進
- 3 活力のある新潟**
ものづくりを担う中小企業支援、新潟ブランドによる農林水産業の活性化、食の魅力をアピールした観光振興、見本市ビジネスの推進

動け、ニイガタ！
ふるさと新潟に元氣注入

- 4 伸び伸び学べる新潟**
いじめ・自殺をゼツタイ許さない、スクールカウンセラーなど相談体制の強化、教職員の多忙化解消、無理のない部活動の検討
- 5 賑わいのある新潟**
鳥屋野潟の整備促進、にぎわいの拠点となる万代島再開発の推進、地域の足となる公共交通の維持、県と新潟市との連携強化
- 6 みんなで考える新潟**
政局に左右されない議会、議員間討論による政策提案機能の強化、議会だより等による議会広報の強化、政務活動費使途基準の明確化

つくるろう、新しい答え。
対決より解決。批判より提案。
議会が変われば、新潟県が変わる。



上杉 ともゆき
国民民主党 公認

<プロフィール>
昭和44年 新潟市生まれ (54歳)
上所小・鳥屋野中・県立新潟高校
早稲田大学政治経済学部
H4 新潟交通株式会社、H19 新潟市議会議員
H23 新潟県議会議員 初当選 (現在3期目)

<主な役職>
国民民主党新潟県連 代表
未来にいがた県議団 政務調査会長
新潟江南高等学校後援会 副会長
鳥屋野中学校区青少年育成協議会 会長
上所小学校学校運営協議会 会長

<主な活動>
にいがたチューリップ部
NPO法人新潟水辺の会
日本都市青年会議
新潟市景観ネットワーク
日本防災士会地方議員連絡会

ホームページ



命を守り、育む政治 福祉と教育のプロとして

「身を切る改革」で政治とカネの問題に真っ向から切り込みます!
政治とカネの問題が叫ばれて久しいですが、マスコミ報道等で新潟県内の事件も大きく取り沙汰されています。
日本維新の会では、議員報酬を2割~3割カットし被災地への寄付金に充当していますが、これは取りも直さず「陳より始めよ」の精神であり、真に国民のための政治を実現するため、まず自分たちが身を切る改革に取り組むことがスタートだからです。
私は「オープンに説明できないことは絶対にしない」という政治信念に基づき、経営者としての経験を活かしてクリーンな政治を行うことをお約束します。

新潟の人口減少に対する具体策を講じます!
令和2年の国勢調査では、新潟県の人口は減少率ともに過去最大。都道府県別ランキングでは北海道に次いで2番目、全国市町村別でも新潟市が北九州市に次いで2番目となりました。人口減少への対策は、国政レベルでは後述する社会保障改革であると考えますが、地方レベルでは「経済活性化」に他ならないと考えます。首都機能の一部移転、スマート農業や新潟ならではの産業を生み出すための特区実現や規制緩和に向け、市政や国政との連携を進めて参ります。

教育・出産費用の無償化 ベーシックインカムの実現に向けた政策提言を実施します!
教育・出産費用の無償化を推進します。児童手当の所得制限の撤廃が話題になっていますが、それよりも保護者の負担軽減と子どもたちの機会均等に繋がる教育費の無償化は最優先であると考えます。日本維新の会による大阪府での実績もあり、地方政治が果たすべき大きな役割です。また、現行の社会保障制度は少子高齢社会に馴染まない賦課方式の年金制度や、必要な方の2割程度にしか届いていない生活保護制度など明らかな制度疲労を起しています。日本維新の会が掲げるベーシックインカム(1人当たり毎月6万円程度の最低生活保障)は、格差是正に繋がる地方にこそ必要な制度設計であり、過剰な個人主義に歯止めをかける効果も期待できます。私は、新潟維新の会政策担当者として日本維新の会のマニフェスト策定に携っており、国政レベルでの社会保障改革や、新潟における個別の社会保障施策の改善に向けた政策提言を実施します。

- 「身を切る改革」による地方行政・議会改革を断行し、市民県民の政治への信頼を取り戻す。
- 「国民の命と暮らしを守るまちづくり」を実践し、疫病・災害等への危機管理を徹底する。
- 「ヒト・モノ・カネの動きを呼び込む経済活動」「スマート農林水産業」を推進し、新潟の新たな成長戦略を構築する。
- 「拉致問題全面解決」「日本海安全保障体制の確立」を目指し、新潟を日本海側の防衛拠点として機能させる。

- 「国づくりは人づくり」を具体化し、将来世代への投資と「国民の代弁者たる政治家」の育成に取り組む。
- 「支え合う社会」の実現に向け、社会保障改革の議論を地方から巻き起こす。
- 「エネルギーの世界を変える大胆な施策」を掲げ、新潟を日本のエネルギー拠点へと発展させる。
- 「時代に即した憲法改正」及び「国民の声を反映した政治」の達成に向け、常に新潟から日本の政治を動かし続ける。

現職 社会福祉法人愛郷会 理事長
公益社団法人新潟県社会福祉士会 理事

資格 社会福祉士(第41902号)
公認心理師(第272号)
介護福祉士(第282261号)

経歴 2015年 国立政策研究大学院大学 自治体改革論ゲスト講師(~2018年度)
2015年 新潟医療福祉大学 福祉NPO論講師(~2018年度)
2019年 新潟医療福祉カレッジ 社会福祉科教員(~2021年度)

経歴 1998年 新潟明訓高等学校卒業
2002年 大東文化大学外国語学部卒業
2002年 日本福祉教育専門学校(夜間ダブルスクール)卒業
2002年 社会福祉法人新潟慈生会
2009年 社会福祉法人新潟市社会福祉協議会 事務局長
2014年 新潟NPO協会 事務局長
2017年 新潟県教育庁 スクールソーシャルワーカー



日本維新の会 公認
井上 ともゆき
43歳

投票日 4月9日(日)



未来のためにみんなで投票!

(この選挙公報は、候補者の原稿をそのまま印刷したものです。)
(この選挙公報の掲載順序は、くじによって決めました。)

令和5年4月9日執行

新潟県議会議員一般選挙公報

新潟市中央区選挙区

新潟県選挙管理委員会

さあ、誇れる新潟の新時代を。

ビジョンを示し、結果を残すのが政治の責任。
みんなが誇りをもてるような新潟の新時代を。
共に考え、進みましょう。



県議会議員唯一の
技術士

市村こうじ

市村

公明党公認

「すぐやる、今やる、必ずやる!!」1期4年で県民相談1,600件!

挑戦!!の4つの

新たな「豊かさ」に挑戦

雇用の安定と経済成長、また物価高対策で、生活をしっかり守ります。

新たな「安全安心」に挑戦

災害に強く、みんなが健康な新潟へ。県民の安全安心がすべての基盤です。

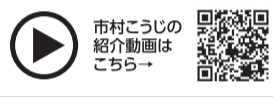
新たな「ひとづくり」に挑戦

人材育成は、地域の人財(たから)づくり。次世代が、いきいきと輝く社会をつくれます。

新たな「未来づくり」に挑戦

住み良さや、わくわくを実感できる街へ「誇れる新潟」をカタチにします。

【プロフィール】公明党新潟県本部代表。1961年2月生まれ。62歳。長岡技術科学大学大学院修了(工学修士)。北陸地域づくり協会を経て、2019年、新潟県議会議員に初当選。現在1期目。技術士(総合技術監理部門、建設部門)。土木学会認定上級土木技術者(マネジメント)。家族は、妻と1女。



市村こうじの紹介動画はこちら→

吉田の挑戦。

1 今をまもる

価格高騰から暮らしを守る。災害から命を守る。環境を守る。

2 育てる未来へつなぐ

子どもの命を救う小児病院の整備。子育て経済負担の削減、私立高校学費負担軽減など社会で子育てを応援。

3 民間企業活動支援・雇用を創る

既存企業を育て、新規開業・企業進出を支援して未来へつなげる魅力ある雇用をつくる。

4 安心・誇れるエネルギー政策へ

三つの検証の徹底と運営体制の適格性の確立までは再稼働はできない。再エネを強力に推進してエネルギー政策No1の県へ。

5 つなぐ・にぎわう国際都市新潟へ

ひと・もの・情報が集まり新しい価値を生むまちへ。空港民営化、トキエア、港湾、新たな公共交通の導入でまちなかの賑わいを。

6 世界が認める環境都市へ

国内初のラムサール条約の湿地自治体認証を受けた新潟市。白鳥が舞う環境で子どもたちが育ち企業が活躍する選ばれるまちへ。

県会へ



た吉田

自民党公認

考えつづける。行動しつづける。

吉田たかし経歴

1962年生 新潟大学農学部卒
同大学院修了
(農学修士・農業システム工学専攻)
民間企業にてまちづくり
都市再開発、各種事業企画に従事
衆議院議員秘書、新潟市議会議員4期
【趣味】ランニング(フル3時間49分)
【家族】妻、長女、二女、長男、二男

16年の市議の経験を県政へ。

政令市新潟市と新潟県が力をわけて未来をつくる。

このまちで生まれ育った子どもたちが夢を形にできるまちへ

新潟市+新潟県=未来

投票日 4月9日(日)



未来のためにみんなで投票!

(この選挙公報は、候補者の原稿をそのまま印刷したものです。)
(この選挙公報の掲載順序は、くじによって決めました。)